平成30年度

第1回景観学習教室

◎今年度も景観学習教室を開催しました。その様子をご紹介します。

日　　時：平成30年6月11日（月）　9:00～12:00
場　　所：黒石市立黒石東小学校
参 加 学 年：4年生（2クラス・53人）
プログラム　◆講義（「景観」って、なあに？-黒石東小学校-）
　　講師：北原　啓司（弘前大学大学院地域社会研究科長）
　　◆まち歩き
　　①　1グループ6～7人の8グループ編成で実施
　　（7人→5グループ、6人→3グループ）
　　②　デジタルカメラを生徒全員に配布し、撮影してもらう

1. 講義のようす。
第1回はまち歩きに行きました。
その前にまず、弘前大学大学院の北原先生から「景観」とは何かを教えていただきました。

北原先生から子どもたちに、写真を交えながら
わかりやすく景観について教えていただきました。

「景観」は、「景（けしき）」「観（みること）」と
書きます。
どうして「見る」という漢字を使わないのでしょう？

よろしくお願いします！！！

今年度も、弘前大学の学生の皆さんに参加して
いただきました。
各グループに入ってもらい、一緒に歩きました。

まち歩きの準備中・・・。
どきどきわくわく。

2. まち歩きのようす。
講義のあとは、まち歩きです。
グループになって歩いて行きました。
講義で聞いた「景観」を考えながら、各々で写真に収めます。

車に気をつけながら出発します。

小学校を出たらすでにまち歩きは始まっています。
まちなかへの移動中でもたくさんの景観を撮影していました。

カメラを通して子どもたちの目に映る景色はどんなものでしょうか。
それぞれの子どもたちの感じ方によって、映る景色は変わってきます。

友達は気付かなくても自分は気付いたり、同じものを見ていても違うように感じたりと、撮るものや場所に正解不正解はありません。

何かを見つけたようです。

まちなかに入ると、子どもたちが進みたい方向へどんどん歩いてもらいました。

気になる扉がある・・・。

好きだなあと思うもの、なんだか嫌いだなあと
思うもの、好きでも嫌いでもないけどなんとなく
気になるなあと思うもの、たくさん撮影しました。

普段何気なく歩いていると気付かないものでも、
今回のようにまち歩きでじっくり観察してみると
こんなところにこういうものがあったんだと気付く
ことができます。

まちなかによく来る子も、細い路地にはなかなか
来ないのではないでしょうか。
大きい通りとは違う景色にそれぞれがカメラを
かまえています。

帰り道も小学校に戻るまでがまち歩きです。
最後の最後まで景観を探しました。

最後に北原先生からご講評をいただきました。
たくさん歩いて、たくさん景観を見つけたようです。

はじめの北原先生の講義を聞いて、初めて景観という言葉を意識した子も多いと思います。
自分たちが住んでいるまちを改めて見て歩くことで、新しい発見があったり、素敵な場所や
こうすればもっと好きになるのになあと思うような場所を見つけたりできたのではないで
しょうか。
今回の授業を終えることで、自分たちの住んでいるまちをにもっと興味を持ってもらえたら
嬉しいです。